

DIALOG

DANCE

DIARY

身体と
イメージをめぐる
演劇祭 in 立教

松田正隆

高山明

チ
ヨ
ン
・
ヨ
ン
ド
ウ

2015年12月5日(土) 13:00 - 19:00

立教大学新座キャンパス(6号館、スタジオ棟)にて

立教大学現代心理学部附属心理芸術人文学研究所 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究プロジェクト
「新しい映像環境をめぐる映像生態学研究の基盤形成」(平成23年度~27年度)

国内外の舞台芸術シーンの第一線で活躍する3名のアーティストが、立教大学の新座キャンパスで1日限りの演劇祭をひらきます。「Dialog/Dance/Diary」をテーマに、対話をモチーフにした映像作品に取り組み松田正隆、外国人労働者をリサーチする高山明、そしてダンスと言語の関係を探るチョン・ヨンドウが作品を発表いたします。身体とイメージをめぐる1日をお楽しみください。

ジャンヌの声 「映像」

日時.. 2015年12月5日(土)

13時~19時 【無料・予約不要】

会場.. スタジオ棟

企画・脚本.. 松田正隆

監督.. 遠藤幹大 助監督.. 寺内七瀬

出演.. 樋口恋、小松曜、米倉若葉、松村珠美

制作.. 株式会社コトプロダクション

松田正隆

立教大学現代心理学部映像身体学科教授。1962年長崎県生まれ。96年『海と日傘』で岸田國士戯曲賞、97年『月の岬』で読売演劇大賞作品賞、98年『夏の砂の上』で読売文学賞受賞。2003年より演劇の可能性を模索する集団「マレビトの会」を結成。主な作品に『HIROSHI MA-HAPCHEON: 二つの都市をめぐる展覧会』(10)、『アンティゴネーへの旅の記録とその上演』(12)、『長崎を上演する』(15)などがある。マレビトの会代表。

バベル—都市とその塔 「映像+朗読」

日時.. 2015年12月5日(土)

映像.. 13時~19時

朗読.. 15時30分/18時30分(予定)

【無料・予約不要】

会場.. 新座キャンパス6号館

N636教室(ロフト2)

構成・演出.. 高山明

撮影.. 宇賀神雅裕 録音.. 藤口諒太

制作.. 特定非営利活動法人芸術公社

高山明

立教大学現代心理学部映像身体学科特任准教授。1969年生まれ。演劇ユニットPort B代表。「フェスティバル/トーキョー」での制作を日本での活動の中心にしてきたが、ヘッベル・アム・ウーファー劇場(ベルリン)やムーゾントゥルム劇場(フランクフルト)、オナーシス文化センター(アテネ)や台南および台北芸術大学など、海外での作品制作も積極的に行っている。演劇にとどまらず、美術の分野からの招聘も多数。

言語の霧 「ダンス」

日時.. 2015年12月5日(土)

14時/17時 【無料・予約不要】

会場.. 新座キャンパス6号館

N623教室(ロフト1)

振付・演出.. チョン・ヨンドウ

出演.. ハミラ、花島令、ソ・ウンギョン、谷川清美

チョン・ヨンドウ

立教大学現代心理学部映像身体学科特任准教授。2006年、ダンスマガジンにて舞踊芸術賞受賞。05年、韓国文化芸術振興基金により新人芸術家海外研修(フランス)、04年、横浜ダンスコレクションにてソロ・デュオコンペティション「横浜文化財団大賞」、「駐日フランス大使館特別賞」を受賞。

トークセッションを開催! 各公演・上映の合間に、各アーティスト+ゲストが登壇するトークセッションを実施いたします。スケジュールの詳細はFacebookページをご覧ください。

会場: 立教大学新座キャンパス 〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26



志木駅下車

徒歩約15分

路線バス(西武バス) 約10分

志木駅南口2番バス乗り場より「清瀬駅北口行き」または「所沢駅東口行き」、立教前下車

スクールバス 約7分

志木駅南口「松屋」前専用バス停(運行時間12:30~19:00、運賃無料)

新座駅下車

徒歩約25分

路線バス(西武バス) 約10分

新座駅南口1番バス乗り場より「志木駅南口行き(北野入口経由)」、立教前下車

スクールバス 約10分

新座駅南口3番バス乗り場より[路線バスと兼用バス停](運行時間7:30~20:00、運賃無料)

Dialog / Dance / Diary —身体とイメージをめぐる演劇祭 in 立教—

<https://www.facebook.com/RikkyoTheaterFes> @RikkyoTheatFes お問い合わせ: 048-471-7154 (心理芸術人文学研究所)

主催: 心理芸術人文学研究所 共催: 現代心理学部 企画: 松田正隆 アシスタント: 中村みなみ コーディネート・宣伝美術: voids

本演劇祭は、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」における『新しい映像環境をめぐる映像生態学研究の基盤形成』プロジェクト(平成23年度~27年度)一環として行われるものである。